

社会産業理工学研究交流会へようこそ！

～研究シーズの共有と社会への還元を目指して～



最近よくAI（人工知能）、IoT（もののインターネット）、ビッグデータ、データサイエンス、ロボット、航空宇宙技術など、コンピュータサイエンス、知的マシンや極限環境へのアプローチ等、技術革新に関わる新しいキーワードを耳にします。それらは、国の審議会等答申や経済界からの提言の中でも頻繁に謳われています。省みて今から30年前に、私たちはこれらのことを予想できたでしょうか。モノがどんどん進化する現在、後何十年かしますと、それこそ私たちの出番は大変少なくなってしまうのではないかと危惧します。しかし、元はといえばこうした21世紀を“第4次産業革命（Industry 4.0）”とか、第5期科学技術基本計画で提言された“超スマート社会（Society 5.0）”などと銘打って、旗振りしているのは我々自身です。こうしたあらゆるモノが現実化する“夢の貧困”の現代、次のワクワクする夢はどのように紡げば良いのでしょうか。

私どもは、今春常三島地区を構成する文と理の各研究部と技術職員の組織を統融合して、新たに教職員の組織として「社会産業理工学研究部」を設けました。本籍地あるいは所属としての教職員組織である一方、今後の学術研究の方向性として文系の社会総合科学と、理系の理工学、生物資源産業学を俯瞰的に考えることで、上記の科学技術の抱える現代的な諸課題の解決を図ろうとしています。当研究部の多様な研究成果を広く社会に公開し研究活動に対する理解を深めていただくとともに、学内や他大学との研究交流、産官学連携の推進を目的としてこの度「社会産業理工学研究交流会」を開催します。前身のエンジニアリングフェスティバルから数えて第17回目となります。上記の組織改編に伴い、従来の研究部における成果のみならず、情報センター、環境防災研究センター、創新教育センター（旧創成学習開発センター；今年度から全学のものづくり教育を支援します）、技術支援部、（一社）大学支援機構（大学支援を通じて大学がイノベーション創出の拠点になる仕組みづくりに挑戦するもので、昨年10月に設立されました）等からも出展されます。それと共に、当研究部の重点研究、若手研究、一般研究、先端工学教育研究プロジェクト（研究部長裁量プロジェクト）に関する研究発表に、研究支援・産官学連携センター等や阿波銀行学術・文化振興財団研究助成採択者、日亜化学工業教育研究助成基金「若手教員海外派遣支援事業」採択者等の研究成果、学外からは香川大学工学部の研究成果についてのポスター発表と数多く出展されます。また、今後の活躍が期待される若手教員による講演発表会、ならびに特別講演では、大塚製薬株式会社 生産本部生産戦略企画部（徳島駐在）の福田哲夫氏にご講演いただきます。製薬の現場ならではの興味深く有益なご講演がいただけるものと期待しております。

この新たな研究交流会を通じて、当研究部の特長ある研究シーズを公開・提供することにより、企業・他機関等との連携研究、共同研究、技術移転ならびに製品開発等の実用化研究に結びつき、社会に役立つ有用な成果に発展できればまさにこの研究交流会の目的とするところであり、大きな喜びです。

本学の教職員、学生、大学院生はもとより、学内外連携機関や企業等から多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

大学院社会産業理工学研究部長 河村 保彦